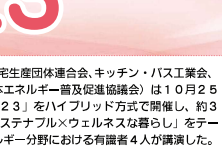
シンポジウム2023

×ウェルネスな暮らし

ウィンガスCLUB（構成団体は住宅生産団体連合会、キッチン・バス工業会、日本ガス石油機器工業会、日本ガス体エネルギー普及促進協議会）は10月25日、「暮らしの未来シンポジウム2023」をハイブリッド方式で開催し、約350人が参加した。「ガスで叶えるサステナブル×ウェルネスな暮らし」をテーマに子育て支援、健康、住宅、エネルギー分野における有識者4人が講演した。

講演①

子育て家庭の住環境支援と豊かな暮らしの実現に向けて



主催者あいさつ

日本ガス体エネルギー普及促進協議会（コラボ）
小川　慎介　会長
（東京ガス副社長）

ウィンガスCLUBは住宅関連事業者、キッチン・バスメーカー、機器メーカーおよびガスエネルギー事業者の4団体により、2000年6月に設立した。この活動の一環として、「暮らしの未来シンポジウム」を開催している。

今回は「ガスで叶えるサステナブルでウェルネスな暮らし」と題し、住宅、健康、エネルギーの分野から4人の有識者を招き、講演してもらう。

乳幼児がいる家庭向けチャンネルを運営する「子育て世帯」を対象とするSNSコミュニティ「ままこと」の運営者である株式会社ままこと代表取締役の奥山千鶴子氏は、「子育て世帯の住環境支援と豊かな暮らしの実現に向けて」と題して講演した。

ままことは、「子育て世帯の暮らしを豊かにする」をミッションとし、子育て世帯の悩みを解決するSNSを運営している。ユーザーは、ほとんどが子育て中の女性で、約3万人が利用している。

ままことは、「子育て世帯の暮らしを豊かにする」ために